アフガニスタンに関する東京会合 CSO パラレル・イベントについて

今年7月8日に開催されるアフガニスタンに関する東京会合に際し、アフガニスタン CSO と日本 NGO が協力してアフガニスタン CSO 東京会議を7月6日、7日、9日の日程で開催する。日本側ではこのパラレル・イベントを開催する主体として「アフガニスタンに関する東京会合 CSO 実行委員会」を発足させた。

経緯

- 日本 NGO 4 団体 (PWJ, AAR, シビル・ソフィア, JVC) は「アフガニスタン市民社会サポートファンド」構想の一環として、2012 年度準備期間としてアフガニスタンのネットワーク NGO のキャパシティ・ビルディングの取り組みを支援することを計画。7 月の東京会合に至るプロセスにおいてもアフガニスタンの市民社会の声が議論に反映されるようサポートすることとしていた。
- アフガニスタン CSO 側では、5 月の NATO シカゴ会議と東京会合に向けて CSO の声をポジション・ペーパーなどにまとめるプロセスをはじめた。東京会合や会議に平行して行われる CSO パラレル・イベントの参加者の選考プロセスも開始した。
- 外務省は CSO パラレル・イベントをサポートすべく各国政府と交渉を始める。
- 日本 NGO 側、アフガニスタン CSO 側、外務省他ドナー側の合意のもと上記アフガニスタン CSO 東京会合の開催が決定。アフガニスタン CSO 30 名を招待することとなる。

アフガニスタン CSO のイニシアティブ

- 2011 年 12 月のドイツ・ボンにおけるアフガニスタンに関する国際会合では、アフガニスタン CSO 側がボン会合やパラレル・イベントへの参加、ポジション・ペーパーの作成において透明性のあるプロセスが十分確保できなかった反省を踏まえ、アフガニスタン CSO の 17 ネットワーク組織が the Civil Society Joint Working Group (CS-JWG) を発足。全国規模でシカゴ会議と東京会合に向けて協議を実施。
- 5 月 29 日、30 日にはカブールにて各県から 100 人、カブールから 80 人が参加して National Consultation を開催。東京会合および CSO 会議への参加者の選出を行うと同時にテーマ別政策ペーパー及びポジション・ペーパー作成の協議を行う。
- 上記 CSO の提言書をもとに、カブールにおいて記者会見、アフガニスタン政府及び各国ドナー等との協議を行う予定である。東京会合後も CSO の透明かつ包括的なメカニズムを生かして東京会合や CSO 東京会議のフォローアップ

を行うことを計画している。

CSO パラレル・イベントのプログラム案 (添付資料参照)

今後の展望

- 日本の NGO としては、アフガニスタンの CS-JWG と連携して東京会合や CSO 東京会議のフォローアップを行う。
- また、日本政府に対してはCS-JWGのイニシアティブとメカニズムを尊重し、アフガニスタン CSO の政策提言の取り組みが効果的に行われるよう資金面を含め継続的に支援することを求めたい。

アフガニスタンに関する東京会合 CSO 実行委員会メンバー団体

- ・ピース・ウィンズ・ジャパン
- ・難民を助ける会
- ・シビルソフィア
- ・日本国際ボランティアセンター
- ・カレーズの会
- ・シャンティ国際ボランティア会
- ・セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- ・ジャパン・プラットフォーム
- ・CSOネットワーク
- ・ケアー・ジャパン
- ・オックスファム・ジャパン
- ・JEN
- ・日本国際民間協力会
- ・アドラ・ジャパン
- ・アムネスティ・インターナショナル・ジャパン